

アルファベット・スペイン語の文字

■アルファベット

大文字	小文字	単語	発音記号	カナ表記
A	a	a	[á]	ア
B	b	be	[bé]	ベ
C	c	ce	[θ é]	セ
Ch	ch	che	[t ∫ é]	チェ
D	d	de	[dé]	デ
E	e	e	[é]	エ
F	f	efe	[éfe]	エフェ
G	g	ge	[xé]	ヘ
H	h	hache	[át ∫ e]	アチェ
I	i	i	[í]	イ
J	j	jota	[xóta]	ホタ
K	k	ka	[ká]	カ
L	l	ele	[éle]	エレ
Ll	ll	elle	[éye]	エジェ
M	m	eme	[éme]	エメ
N	n	ene	[éne]	エネ
Ñ	ñ	eñe	[éñe]	エニエ
O	o	o	[ó]	オ
P	p	pe	[pé]	ペ
Q	q	cu	[kú]	ク
R	r	ere	[ére]	エレ
	rr	erre	[erre]	エルレ
S	s	ese	[ése]	エセ

T	t	te	[té]	テ
U	u	u	[ú]	ウ
V	v	uve	[úbe]	ウベ
W	w	uve doble	[úbe doble]	ウベドブレ
X	x	equis	[ékis]	エキス
Y	y	i griega	[í griéga]	イグリエガ
Z	z	zeta	[θ éta]	セタ

* 上のカタカナ表記はおおよその読み方を示す。

●アルファベットの名前を使う時・場面は？

空港のゲート名やバスの路線名などで頻繁に使われるので、それぞれの文字の発音を単語として覚えておくべきである。英語式に発音すると理解されないので注意したい。また、スペイン人にとって日本人の名前はわかりにくいので自分の名前をアルファベットで言えるようにしておこう。

- Deletree su nombre y apellido, por favor. // あなたの名前と姓の綴り字を言ってください。◇deletrear スペルを言う, nombre 名, apellido 姓, por favor お願いします。

●文字の別の読み方: ch, r, rr, w, z の別の読み方は？

b と v は発音が同じなので, b を be larga 「長い b」, be alta 「高い b」, v を ve chica 「小さな b」, ve baja 「低い b」と読んで区別することがある。

ch は ce hache [θ é át ʃ e] [セ・アチェ]とも呼ぶ。

r は erre [érre] [エルレ]とも呼ぶ。

rr は ere doble [ére doble] [エレ・ドブレ]とも呼ぶ。

w は ve doble [bé doble] [ベ・ドブレ]や doble ve [dóble bé] [ドブレ・ベ]とも呼ぶ。

z は zeda [θ éda] [セダ]とも呼ぶ。

●ch と ll の伝統的な配列方法と新方式(1994)について

伝統的なスペイン語の文字配列では、ch と ll は独立の文字として、それぞれ c と l の後に続く。伝統的な辞書では c で始まる単語がすべて終わってから、独立して新たに ch で始まる単語を配列してある。たとえば、chabola は C のグループではなくて、Ch のグループにある。よって、chabola は cuyo よりも後になる。辞書で確認しよう。

同様に語中でも、hacha は hacienda よりも後になる。l と ll の関係も同じである。辞書で llama と calle の位置を調べよう。llama は L のグループではなく、luz などの語が終わった後にはじまる Ll という独立したグループの中にある。calle は calzoncillo よりも後にある。

●最近の動き

1994年「スペイン語アカデミー協会」(Asociación de Academias de la Lengua Española)はこの ch と ll を英語などの言語と同じように、それぞれ c と l の中に配列することを決定した。この協会の中心である「スペイン王立アカデミー」(Real Academia Española)もこれを推進しているため、今後は ch と ll という独立の文字はなくなるだろう。

* 日本のいくつかの辞書はまだ伝統的な配列をしているが、スペインの一部の辞書ではすでに新方式を採用している。

●ñの文字の位置

Ñ, ñ (エニェ)はスペイン語に特有の文字だが、辞書では N の後にある。pañal は panzudo の後にある。スペイン語が書けるタイプライターやワープロのキーボード配列では独自のキーが割り当てられている。

●二重字

ch, ll, rr を「二重字」とよぶ。音節を切るときはそれぞれ一つの子音として扱われる。

◇co-che 「自動車」、ca-lle 「通り」、to-rre 「タワー」。

●語頭の r-は接頭辞がつくと?

語頭の r は、接頭辞がついて語中になると rr になる。

- revolución 「革命」> contrarrevolución「反革命」
- robo 「盗難」> antirrobo 「盗難よけ」.

●英語で使われない発音記号[x], [ɲ], [rr]はどのような音だろうか？

(1) [x] は, [k] の位置で発音される摩擦音である。

◇gente [xénte]「人々」

(2) [ɲ] は, [n] が硬口蓋まで広がった鼻音である。

日本語の「ニャ」, 「ニュ」, 「ニョ」の音。

◇niño [níño]「子供」

(3) [rr] は, 「ルルル」というように舌先を数回震わせる音である。

* ◇rosa [rrósa]「バラ」, perro [pérrro]「犬」

●英語とは異なる音を示す発音記号

[θ, r, p, t, k, l] は英語と同じ発音記号を使うが、スペイン語の音はかなり異なる。

[θ] は, 英語でもスペイン語でも歯間音であるが、スペイン語のほうが摩擦が強い。

◇cinco [θ inko]「5」, caza [ká θ a]「狩猟」.

[r] は, 英語では母音に近いが、スペイン語では弾く音であり、はっきりとした子音である。

◇toro [tóro]「雄牛」.

[p], [t], [k] の発音は英語では [h] を伴って発音されるが、スペイン語では純粹に[p], [t], [k]だけが発音される。

◇pico [píko]「くちばし」, tinta [tínta]「インク」, quince [kín θ e]「15」.

[l] の発音の中で英語の「暗いl」(dark l, 例: school, bell)はスペイン語にはない。

◇papel [papél] 「紙」.

二重母音(そして三重母音)の [i] と [u] は、英語では [e] や [o] に近くで曖昧に発音される(例: 'boy', 'out').

スペイン語ではそれぞれ母音 [i], [u] の位置の近くで明確に発音される。とくに [i] や [u] が二重母音の2番目になるときに違いが目立つ。

* ◇piano [piáno]「ピアノ」、aire [áire]「空気」、puerto [puérto]「港」。

●文字と発音の関係について

スペイン語は文字と発音の関係が規則的な言語である。

書かれた語や文は規則的に発音され、また発音された語の綴り字を知るのも比較的やさしい。

一般にローマ字と同じ読み方に近い。

◇mano [máno] [マノ]「手」、peso [pésó] [ペソ]「重さ」。

h は、ch では[tʃ]と発音するが、単独の h は発音しない。

◇chico [tʃíko] [チコ]「子供」、hombre [ómbre] [オンブレ]「男」

gue, gui はそれぞれ [ge]「ゲ」、[gi]「ギ」と発音する。

◇guerra [gérra]「戦争」、guiso [gíso]「料理」。

que, qui はそれぞれ [ke]「ケ」、[ki]「キ」と発音する。

◇queso [késó]「チーズ」、quince [kín θ e] 「15」。

c, g, r には、1 つの文字に複数の発音がある。

◇casa [kasa]「家」、cocina [ko θ ína]「台所」。

◇gato [gáto]「猫」、gente [xénte]「人々」。

◇rosa [rrósa]「バラ」、puro [púro]「純粋な」

ch, ll, rr では、複数の文字が1つの発音に対応する。

* ◇coche [kót ʃ e]「自動車」、gallo [gáyo]「雄鶏」、perro [pérro] [ペルロ]「犬」。

* 英語とスペイン語はどちらが先に生まれたのですか？

→言語が生まれた時期を明確に定めるのは難しいのですが、最初のスペイン語の形が文献に残っているのは10世紀ごろです。それから15

世紀までが中世スペイン語，そして 16 世紀以後は近代スペイン語となります。英語は，およそ次のような時代区分になります。

古英語	Old English (OE);Anglo-Saxon	650 年頃 - 1100 年頃
中英語	Middle English (ME)	1100 年頃 - 1500 年頃
近代英語	Modern English (ModE)	1500 年頃 - 1900 年頃
現代英語	Present-day English	1900 年頃 - 現在

英語はゲルマン系の言語で，スペイン語はラテン系の言語ですが，英語にはノルマン人の征服があったため多くのフランス語が入りました。それらの語はスペイン語の形とよく似ています。